



前田孝子

孤独

宮澤秀一

ダーツボードの上に今日もクモはいる
こんな部屋にいてもエサはない
でもクモはいる

僕はいつも部屋にいる
ダーツを投げるたびに
日々段々やせ細って行くクモを観ながら
深夜に即席ラーメンに卵を一個落として
段々と太って行く僕

僕はクモに話し掛けた

「お互いに一人ぼっちなんだよな」

お父さん

山田寧弘

私の心のお父さん

いつまでもお父さん

のいどもでいるよ。

お父さんが、いないけどお父さんの

いどもでいるよ。

私のお父さんは、世界一位の

お父さんだよ。



宮崎英典



近内文子

祈り

悠花

心を鎮めて“いき”をして
夏の風と小鳥の声に
自分の居場所を
開け渡して 譲って
存在の甘露を
心の平安と共に 頂く
静けさは どうか
悲しみと つながらないで
力強さと共に
やつて来てほしい

残したいもの 村田 智子

そのほほえみと勇姿で

いかせ

いのち



金田幸夫



萩原英春

コミュニケーション

ひまわり

明るく笑う

元気に

今日も一日が終わる

世界で一番笑うひと

ひまわりは元気ですか

まるで私の希望

そのひまわりは女の子

しんせきの4才の女の子

ああ笑っている

わたしより笑っているよ

見習うよ、ひまわりの子を。

りんどう

菱山 信一

しの竹を

ふみ分け入る山道に

ひそやかに咲く

りんどうの花



田嶋京子



門倉泰明

悲しみを乗り越えて

萌

人生、生があり
死がある
初めて 知った
人の死に
身近に居てくれて
有難う
今は もう居ないけど
心は いつも 思い出す
胸に思いを
いつまでも
貴方のことは
忘れまい
心より 貴男の存在
有難う

心の信号

小林 稔

さあ 青の信号だ

スロー アヘッドで行こう

赤色の信号だったら ストップ停止だよ

さらに信号が点滅していたら 手前で停止

立ち止まっても うなだれないでね

そして 空を見上げて

鉄腕アトムを呼ぶんだ

そして『青になるまで待つ』と約束するんだ

歩みだす勇気が湧いてきたでしょう

さあ 青色の信号だ

スロー アヘッドで行こう



成澤資子



植木克彦

愛の街 津久井

CHIPPY

時の流れに身を任せ
気付いたら ここにいた
ホトトギスのさえずりをきいて
何となく 心が癒される
試練を多くあびた分
幸せを感じる

こもれびという暖かい光で
僕は変わっていく
忌まわしい過去は捨てて
前を見て歩くしかない
もうこれ以上 弱音を吐きたくない
現実に向つて 前を見て進め

美しい心

乙女野 静科

毎日

365

毎日

365

綺麗な美しい心

で居続けければ

幸せはすぐ

そこに……
♥



マリー



上溝南中学校 齊藤日菜

心臓の鼓動

憂子

楽しくてワクワクする時、心臓が高鳴る。
不安になっている時、心臓がドキドキする。

嬉しい時も 悲しい時も

辛い時も さみしい時も

できれば、できるだけ

笑っていたいんだ。

この心臓が、動いている限りは。

明るい太陽ちゃん

春次花芽

明るい太陽ちゃん

よくカラオケをするね

お面白い太陽ちゃん

よくお話しするね

ありがとう

いつも遠くから見守ってくれて！

楽しい太陽ちゃん

仲良くしてくれて

ありがとう

頑張ろう！



犬飼秀子



平田友孝

おっさん

あらし

おっさんとは夫の呼び名

五十九歳の若さで脳梗塞で倒れた

介護の日々

最初の2、3年はお互い苦しんだ

あまりの辛さに私の方が死ぬかと思った

だが、いろんな人に助けってもらった

施設での時間はゆっくり流れたな

あんなにお酒が好きだった人が

施設に入ってから一滴も飲めなかった

十七年は永いよね

得意のちぎり絵、たくさんたくさん作ったね

施設の人達みんなみんな、やさしかったよね

そのおっさんが

眠ったまま静かに、静かに、旅立った

ゴール

花友恵

世の中で
ボールを追って
私たち
どこへゆくのか
空ぶりは多く
土は重いけれど
信じて
けりあげる力を失わず
誰もが
輝ける战士们
ゴールは両手を広げ
待っている



中坂和子



大賀隆美

透明人間

タオル

ある日、突然透明人間になった
それもそのはず

私は交通事故で死んだのだった

49日は下界に居るといふ

思いのほか元気で成仏できる

寄る年波

ユミコ

五十代も後半にはいると

腰痛 膝痛

それでも整形に通い

趣味の編み物再開

一時

正座もできなかつたが

今はどうか。。。

若い人に未来を託し

それなりに

頑張りましょう



稲本俊策



石倉孝博

無題

克美

自分の現状が

辛いときに……

置かれた場所で

咲きなさい

お茶づけ

藤井 孝二

日本人なら一度は口にした事があるお茶づけが私は好きである。特に鮭茶づけが好物である。

私の家は昔から貧しく唯一の楽しみが、鮭茶づけであった。大人になっても鮭茶づけが好きなのは、現代の日本人が唯一日本人である事を感じさせられる食べ物であるからだ。私は毎月、お金が入ると、お米¹、お茶²袋、お茶

づけのり²、パックを買い込む習慣がある。現代の食べ物の価格の中では非常に低価格の食べ物であるからだ。そして、お茶づけを食べられる事を今日も感謝しつつこれからも

平和を祈り続ける日々である。



大塚宏治



岩崎春子

水

t.k

水それは人間にとって なくてはならないもの
水それは人間にとって 体の一部のようなもの
水それはまるで 水のしずくのようなだ
水それはまるで 水のしずくのようなだ
そのしずくはやがて ポタポタとおちる
なないろの光が 光で反射して
にじのように 見える
なんて美しい色なんだ
なんて美しい色なんだ
この自然の恵みをだいじに したいものだ
だいじに したいものだ

克服

和田 正博

そんな事ある訳ないな

疾患が治ったら

色々な事をしたいと思うが

別に普通の事をする

病気という事に気づけたという事

それは自分の方向転換的記憶だ

自分を今以上、好きになり

どんな病気もはね除けたい



筒井純一



岡村郁雄

思い出

坂本 裕子

思い出とは 忘れてしまうものではありません

思い出とは しまっておくもの

いつの日か そと開けて

懐かしく 思い出すもの

しまっておく事は

忘れてしまふことではありませんよ

「虹色」

ハナモモ

障がい者

その色だけ見ないで

全部見て

いろんな虹色

持っているでしよう



鈴木千恵



大野台中学校 酒井明香里、渡辺桃香、井上綾乃

陽だまりの季節

内田智子

いまがある喜びは
過去への依存ではなくなった
いまは孤独でもない

戦いもない

戦士にならなくても生きていける

愛をむさぼらず
いまを愛せばいい

苦しみをほおぼらずとも
いまを愛せばいい

苦しみをほおぼらずとも
生きている証をしっかりと刻んでいる

恐れは小さくなり
喜びは大きくなり

一歩ずつ
許される階段を昇る
少しずつ ゆっくりと

姉との思い出

コナン

姉が天国へ旅立って三年になる

「白血病」と聞いて泣き崩れていたけれど、

一番辛いのが姉だった

姉とは時間も忘れる程、色々話もして

お互いに励まし合い

二人で出掛けた事もあった

大好きな姉はもう会えないけど

沢山の愛情と笑顔を私に残してくれた

姉の分まで頑張っていきたい



青島潤治



武川信子

雨の降る街

幻影花

滴が顔に当たり
頬を流れ落ちる
ふと見上げると
一つまた一つ水滴が落ち
水の絨毯を引くように
広がっていく
水たまりでは、子供たちが
楽しそうに遊び
視線を移すときれいな
色とりどりの傘が開いている
色とりどりの花と
水遊びをする子供たち
その情景が絵画のように

ウルトラウーマン 式部守

ぼくの心を突き刺す

君はイナズマ

ぼくの心はしびれて

君にお手上げ

どうすりゃいいんだろうもう

張り裂けそうだよ

どこまでぼくをこんな

ふるわせるつもり

ウルトラウーマン 君の瞳は

闇を照らすサーチライト

ウルトラウーマン 君の瞳は

ぼくを照らすサーチライト

ウルトラウーマン



福田 修



上溝南中学校
小林三晏

怖い

山口由美子

常に、襲われる感情

「怖い」

己に関するもの。

他人に関するもの。

生きる上での怖さ。

前向きに恐怖を味方につけようと、模索中。

生きてやる。

バッターボックス

中洞 美世子

青い空に 白い雲 行方を見守る。

バッターに届く球 私の告白が

ホームランになる瞬間、

頭上にプロペラ機の音が響き、空を仰いだ。

黒い影を見て、平和な国で良かったと。

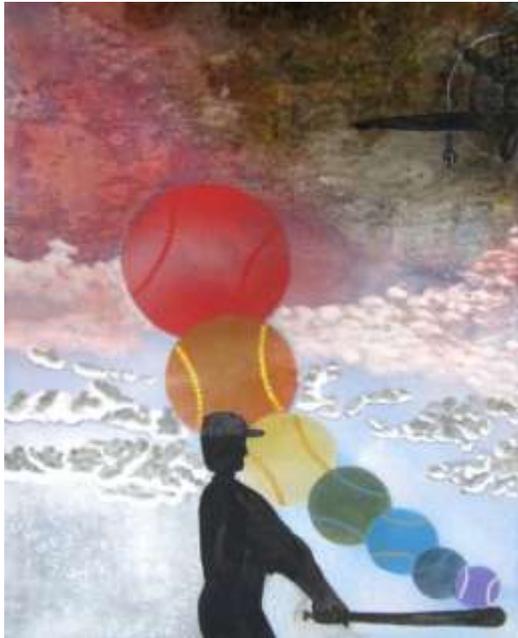
そして、行方の先に虹を見た。

君は一度だけ泣いたね、

再会できた嬉しさ、私は知っている。

ホームに戻るまでに シャボン玉の様な夢が

割れずに貴方に届いてほしい。



安西 弘



高橋啓輔

私の令和元年GW イノウエアツオ

私の令和元年GW

前後合せて²4連休になった

いくつか予定を立ててみた

読もうと思っていた本を読み

詩を書く

何年ぶりかで お酒を飲んでみる

本は予定の3分の1しか進まなかった

出来栄えは別として 詩を2つ書いた

空きつ腹にスコッチを飲んだ

酔い覚めの水がうまかった

食欲がなくなった

アル中 ヤバイ あわててお酒を片付けた

その向こう側へ

時代 感生

生まれなきや良かった
出生を恨む時がある
努力しても報われない
時がある

でも そんな時を
耐え抜いて生きてくれ
皆いつか終わる
その後は何が待つて
いるのか分からないが
きつと良い事が
待つていると
信じてみる

僕は 幸せだから
まだ 死にたくない
そう思つて死にたい



中洞紀子



上溝南中学校 相川詩帆

母に贈る詩

みほ

私 が う れ し い と き も

悲 し い と き も

い つ も 味 方 で い て く れ た

母 が い て く れ た か ら

私 は 生 き て こ れ ま し た

こ れ か ら は 自 分 の こ と を

一 番 に 考 え て 長 生 き し て ね

こ れ か ら も ず つ と 大 好 き で す

ゆめ

外山 幸代

そよそよ

風にふかれるまま

ゆらゆら

川の流れのように

さわさわ すーと

歩みつづける



佐藤泰江



池田百合子

大好きなあなた

三浦裕美子

いつも私のよこで話をしてくれる

いつもおいしいものを食べて喜んでくれる

いつも旅行に行くとき悪ふざけをしてくれる

そんなあなたが大好き

これからもずっと一緒にいます。

ずっと愛し合おうネ